

ヨコハマトリエンナーレ2014 運営管理業務 プロポーザル評価基準

	評価項目	評価基準	満点
A 提案内容に関する視点 (65点)	1) 事業主旨の理解度	本展覧会の主旨及び業務内容を十分に理解している。	10
	2) 事業内容の実現性	提案された内容が本展覧会において実現性を持ったものである。	15
	3) 企画内容の独自性	独自の優れた提案である。	5
	4) 危機管理体制	突発事故や災害時等の緊急対応等、十分な危機管理体制がとられている。	15
	5) 来場者サービスの視点	国内外からの多数の来場者を見込むため、来場者サービスの視点がある。	10
	6) 他事業者等との連携	本展覧会にかかわるあらゆる事業者・NPO団体・市民・市民サポーターなどとの連携・協力の視点がある。	10
B 実施体制に関する視点 (35点)	1) 過去の業務実績	本業務を実施するにあたり、過去に同種・類似業務実績がある。	10
	2) 人員体制	本業務を遂行できる人員体制・配置である。	10
	3) 予算計画	本業務を実施するにあたり、適切な予算積算がなされている。	10
	4) スケジュール管理・情報共有	適切なスケジュール管理及び情報共有がなされるような体制である。	5
			100

※各審査委員持ち点100点×審査委員4名=400点満点